

戦略的イノベーション創造プログラム（S I P）
『次世代農林水産業創造技術』推進委員会（第4回）議事要旨

1. 日 時 平成27年 5月27日（水）10:00～11:30
2. 場 所 中央合同庁舎第4号館4階 共用第2特別会議室
3. 出席者：（敬称略）

久間 和生 総合科学技術・イノベーション会議 有識者議員

（議長）西尾 健 内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付プログラムディレクター

サブ・プログラムディレクター

野口 伸 北海道大学 大学院農学研究院 教授
佐々木 卓治 東京農業大学 総合研究所 教授
阿部 啓子 東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授
小野 拓邦 東京大学 名誉教授

戦略コーディネーター

西口 修 (株)日立ソリューションズ 空間情報ソリューション本部 GIS部 部長
山本 正美 タキイ種苗株式会社 茨城研究農場長
山野井 昭雄 味の素株式会社 社友（元副社長）

守山 宏道 内閣府宇宙戦略室 参事官
田沼 知行 総務省情報通信国際戦略局技術政策課 企画官（代理：北村 隆雄 課長補佐）
宇都宮 仁 国税庁課税部 鑑定企画官
堀内 義規 文部科学省研究振興局ライフサイエンス課 課長
原 克彦 文部科学省研究開発局 環境エネルギー課 課長
安岡 澄人 農林水産省大臣官房政策課技術調整室 室長
寺田 博幹 農林水産省農林水産技術会議事務局技術政策課 課長
鈴木 富男 農林水産省農林水産技術会議事務局技術政策課 技術安全室 室長
田中 健一 農林水産省農林水産技術会議事務局研究推進課 産学連携室 室長（代理：田熊 秀行 課長補佐）
中谷 誠 農林水産省農林水産技術会議事務局研究統括官（食料戦略、除染）室 研究統括官
河内 幸男 農林水産省農林水産技術会議事務局研究開発官（食の安全、基礎・基盤）室 研究開発官
柚山 義人 農林水産省農林水産技術会議事務局研究開発官（環境）室 研究調整官
板倉 茂 水産庁増殖推進部研究指導課 参事官
塩見 篤史 経済産業省産業技術環境局研究開発課 未来開拓研究統括戦略官
新階 央 経済産業省製造産業局生物化学産業課 産業分析研究官
吉川 和身 環境省総合環境政策局総務課 環境研究技術室 室長（代理：嶋田章係員）
牧野 竹男 農研機構生研センター企画部企画第1課 課長
古市 喜義 科学技術振興機構経営企画部 研究監

事務局

松本 英三	内閣府	科学技術・イノベーション担当	審議官
福田 敦史	内閣府	科学技術・イノベーション担当	参事官
山田 広明	内閣府	科学技術・イノベーション担当	企画官
木澤 悟	内閣府	科学技術・イノベーション担当	上席政策調査員
中村 真人	内閣府	科学技術・イノベーション担当	研修員

4. 議題

- 1 平成26年度評価結果について
- 2 研究開発計画について
- 3 平成27年度における対応について
- 4 その他【非公開】

5. 配付資料

- 資料1 平成26年度評価結果（農業部分抜粋）
資料2 SIP次世代農林水産業創造技術研究開発計画（2015年5月21日）
資料3 平成27年度におけるSIP次世代農林水産業創造技術の対応

6. 議事要旨

- 1 平成26年度評価結果について
- 2 研究開発計画について
- 3 平成27年度における対応について
- 4 その他【非公開】

議事に先立ち、久間議員より、SIPをとりまく状況、当課題を推進する上での留意事項、当課題への期待について、ご挨拶があった。

議事の進行は、議長の西尾PDによる。

1. 平成26年度評価結果について
資料1に基づき、事務局から説明がなされた。

西尾PDより、評価結果への対応について、以下の発言があった。

【西尾PD】

- ・総花的に見えるという指摘に対しては、コンソーシアムの連携を具体的に進め、全体的な連携の姿を見せていくことが重要。研究者の意識もそのように誘導していくことも重要。
 - ・生産者、消費者に対するアプローチが不十分という指摘に対しては、成果の利用者である生産者、消費者を意識した成果の出し方をより意識する必要がある。
2. 研究開発計画について
資料2に基づき、研究開発計画の修正部分（2015年において取り組むポイント、2015年度予算の追記）を中心に事務局から説明がなされた。
 3. 平成27年度における対応について

資料3に基づき、評価結果等を踏まえ、課題を推進する上で、留意する点について、事務局から説明がなされた。

西尾 PD より、平成27年度における対応について、以下の発言があった。

【西尾 PD】

- ・ 研究管理ワーキンググループ等の場でも常に言っているが、コンソーシアム間や研究者間の連携を強化していく。
- ・ 関係府省には、市場ニーズや生産現場のニーズ等を踏まえた研究開発が行われるよう、研究管理ワーキンググループの中で、研究機関に対してアドバイスをお願いしたい。

4. その他【非公開】

以上